

総合的な学習の時間 学習指導案

単元名 知っているようで知らない情報社会のモラル(1時間完了)

目標 情報社会のモラルについて、常識とされていることの誤りに気付き、それらについて調べ、理解することができる。

| 時間 | 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 | 情報モラルにかかわる 評価の観点と方法 |
|-----|--|---|--|
| 1分 | 1 本時の学習内容を知る。 | 身の回りにあふれる「情報」に目を向けさせ、それらに取り囲まれた社会で生きるためのモラルについて考えることを伝える。 | |
| 5分 | 2 身近な情報を扱う上で、気を付けていることについて考え、発表する。 | 携帯電話やインターネットなど、生徒の生活に密接に関わるものを中心に、自由に発表させる。 実際に被害を受けたり、嫌な思いをしたことがあったことについては無理に発表しなくてもよいことを伝える。 | 身近な問題として意識できているか、発表の様子からつかむ。 |
| 10分 | 3 情報モラルクイズ「中学校」に取り組む。 | 操作の手順(起動・入力・保存・終了)について説明する。 各自に個人のペースで解答させる。 | |
| 10分 | 4 集計結果を見て、常識とされていることの誤りに気付く。 ・ 正答率が低い問題とその内容を発表する。 | 画面転送機能を用いて集計結果を示し、学級全体で正答率の低い問題を再認識させる。 集計結果の個人名を提示しないように、下段の集計欄だけを見せる。 | 学級全体の傾向として正答率の低い内容が何であったか、認識できたかを発表の様子からつかむ。 |
| 20分 | 5 正答を見て、正しい答えになる理由を調べ、間違いを修正する。 ・ インターネットで調べる。 ・ 調べた内容を発表する。 | 調べる学習を始める前に、答え合わせのページの「正答」と「解説」を読ませ、基本的な知識を理解させる。 インターネットで調べる際、検索エンジンのキーワードに「解説」に含まれている語句を入力するとよいことを伝える。 | 正しい答えになる理由を理解し、間違いを修正することができたか発表の内容からつかむ。 |
| 4分 | 6 学習のまとめをする。 | 本時で学習した日ごろ見落としがちな情報社会のモラルについて、関心をもって生活するように助言する。 | |